

長万部の

教育

コーナー



今、学校では

この景色、忘れないでいようね！

いずみ保育園

お散歩コースでいつも利用していた跨線橋。温泉スロープ・町民センター・スポセン前の広場や福祉センター前のお庭などへのお散歩では必ず通り、すれ違う人に「おはようございます！」と元気に挨拶をしています。津波の避難訓練では、皆で小走りで駆け上がったのも思い出です。年長さんと年中さんだけで列車を見に行きました。大好きな『四季島』を上から見た時には大感激！子どもたちのこの表情を見られたのも跨線橋のおかげです。来年の春には新幹線工事の為に壊されてしまうと聞きました。少し寂しい気持ちですが、いつか新幹線が通るようになって



た時、また違う景色を見ることができるとかなとワクワクもします。自分たちの住む街の素敵なところをたくさん見つけてくれたらいいなあと願っています。この景色、忘れないでいようね！

「学校祭」確かな成長

長万部町立長万部中学校

今年度の学校祭もまた、コロナ禍による制限の中での開催でした。緊急事態宣言の下で、わずかな時間を最大限生かしての準備となりましたがどれも素晴らしい発表でした。中でも合唱は全ての学年が大きな足跡を残してくれました。

数分のドラマです。そこにはそれぞれに心の繋がりがありません。

最優秀賞は2年生でした。3年生は賞を逃してしまったのですが、発表直後は悔しさや落胆を表に出さず、全員が背筋を伸ばして凜と座っていたのです。これこそが最高学年としての立派な振る舞いだと感動しました。この時の彼らの背中を下級生にはしっかりと

OGの方で、町花や海、七〇をイメージできるようになっています。ペットボトルのキャップを利用した作品で、環境にも配慮しております。完成した際には公開する予定です。



りと受け継いで欲しいと思います。

キャリア教育の充実と進路実現に向けて

長万部高等学校

3年生は進路実現に向け、就職試験や専門学校、大学の試験に向けて準備をしています。生徒は模擬面接、志望理由書など先生方からのアドバイスに対して熱心に耳を傾け積極的に取り組んでいます。

一〇月一七日(日)に開催予定の七〇周年記念式典につきましては、計画どおり順調に準備が進められております。

2年生は一〇月六日、七日の二日間でインターンシップを行う予定です。職業観を養い、自分の進路に向けて考える貴重な機会となるように指導していきます。

また、1、2年生は総合的

また、1、2年生は総合的

その中において、アート作品を現在、有志の生徒たちの手で制作中です。デザインを考案していただいたのは本校



OGの方で、町花や海、七〇をイメージできるようになっています。ペットボトルのキャップを利用した作品で、環境にも配慮しております。完成した際には公開する予定です。



8月24日 着衣水泳



8月31日 総合的な学習発表会



9月1日 北海道シェイクアウト



9月14日 太鼓放課後練習始まる

自ら、あいさつ・助け合い！

合同宿泊研修を通して

七月二十日(火)～二十一日(水)に、「ネイバル森」にて宿泊研修を行いました。

長万部小学校と静狩小学校の五年生計三十四名が参加しました。今年度は、マスクの着用や手洗いの徹底など感染症対策を講じながら宿泊研修を実施しました。今回の宿泊研修での子どもたちのめあては、「自ら進んで、あいさつや助け合いをして楽しい宿泊研修にしよう。」でした。

大きな期待と希望を胸に学校から出発。この日はとても良い天気、バスから見える景色を楽しみながら森町へと向かいました。出合いの集い、昼食を終え、最初の活動は、「ウォークラリー」。「コマ図」と言われる地図を頼りに、それぞれのグループがチェックポイントを目指しました。チェックポイントまで友達同士で話し合い、助け合いながら活動しました。

次の活動は、「森のフレーム」に取り組みました。麻布の上に木や松ぼっくり、木の実などを付けて、思い思いの作品を製作しました。初日、最後の活動は、「館内ラリー」。館内の地図とヒントを頼りにそれぞれのグループが答えを求めて、館内を探索しました。たくさん動いた後は、お待ちかねの夕食。おいしく、たくさん食べることができました。

夜の自由時間は、一番の思い出になりました。体育館でストラックアウトやドッチビーを行ったり部屋でお話をしたりと、子どもたちにとって、貴重な経験になったと思います。

二日目は、朝食・部屋の整理整頓・検温からスタート。感染予防をしながら掃除や布団の片付けもグループ内で助け合いながら、綺麗に片付けることができました。

最後の活動は、「パークゴルフ」。最初は、なかなかボールが飛ばなかったり、真っ直ぐボールが飛ばずにコースからはみでたりする様子も見られましたが、だんだんコツをつかんでいき、楽しく活動することができました。

今回の宿泊研修を通して、「自ら進んで、あいさつや助け合い」をすることの大切さを改めて確認した子どもたち。一人一人がめあてを守り、思い出に残る二日間を過ごすことができました。

